

事業評価シート（平成23年度分）

1. 事業の位置付け

事務事業名	子ども読書活動推進事業		
事業担当	社会教育部 社会教育課		
事業種類	○ハード ●ソフト		
総合計画の位置付け	'02	基本目標2 子育て、長寿を楽しみ、安心していきいきと暮らせるまち	
	'01	①〈地域力〉 地域組織や市民活動の力を育て、まちづくりに活かす	
	'03	3 地域社会で家庭や地域の子育てする力を高める	
根拠法令等	子どもの読書活動の推進に関する法律		
対象・受益者	全市民、乳幼児～高校生	事業期間	
委託、協働	【委託： <input type="checkbox"/> 3セク・財団 <input type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> NPO <input checked="" type="checkbox"/> その他 】 【協働： 各地区の推進協議会 】		
目的・目標		事業の概要	
身近なところに本と出会える環境・機会を整えることで、子どもの読書への興味・関心を喚起し、人生をより豊かに生きるための知性や感性がはぐくまれています。		子どもの読書活動をより一層充実するため、各中学校区子ども読書活動推進協議会の協力のもと、家庭・地域・学校・行政とが連携し、平塚市子ども読書活動推進計画(第二次)に基づいて全市的な読書活動を推進します。	

2. 事業の検証

活動指標①	指標名	子ども読書活動推進協議会設置数			単位	か所
	説明・算定式	設置対象地区：全15中学校区				
		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	
	目標	15	15	15	15	
	実績	15	15	15		
活動指標②	指標名				単位	
	説明・算定式					
		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	
	目標					
	実績					
成果指標①	指標名	小・中学校の読書に関するボランティア数			単位	人
	説明・算定式	延べ人数				
		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	
	目標	2000	2050	2070	2090	
	実績	2000	2000	2036		
成果指標②	指標名				単位	
	説明・算定式					
		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	
	目標					
	実績					
進捗状況	①：予定どおり					
	遅れている理由					
平成23年度の主な取組と成果						
子どもの読書活動をより一層推進するため、関係機関と連携し、各中学校区子ども読書活動推進協議会への支援を行いました。また、講演や実践事例を通して、読書活動の重要性を広く啓発するとともに、子どもが読書に親しむための環境づくりに努めることを目的として、子ども読書活動推進フォーラムを中央公民館で開催しました。また、各地区協議会の連携を推進するために組織された平塚市子ども読書活動ネットワーク運営委員会を支援しました。						
平成23年度の検証結果	A：成果があがった					

事業分析	項目	分析の視点	先の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価
	必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズ <input type="checkbox"/> 事業目的の達成状況 <input checked="" type="checkbox"/> 市の関与の必要性 <input type="checkbox"/> その他	「子どもの読書活動の推進に関する法律」を受け、本市の「平塚市子ども読書活動推進計画」を策定して、これにより行政と地域が連携して行う事業として推進しています。	● 高 ○ 低
	有効性	<input type="checkbox"/> 上位施策への貢献 <input checked="" type="checkbox"/> 市民満足度を高める方策 <input type="checkbox"/> 継続による成果向上の可能性 <input type="checkbox"/> その他	子どもが本と触れ合える機会の提供、読書に関する環境整備が進むことで、学校だけでなく地域や公民館などあらゆる場で取り組みが推進され、子どもや保護者の読書への関心が高まり、活動の満足度が高まっています。	● 高 ○ 低
	妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の目的、対象、内容 <input type="checkbox"/> 受益者負担、補助額 <input type="checkbox"/> 業務の執行体制(人員配置、業務分担) <input type="checkbox"/> その他	地域・学校・家庭が連携して読書活動を推進するという会局的に見ても先進的な取組です。事業の実施主体は、市が委託する中学校区ごとの推進協議会であり、職員は活動に対しての支援をしており、妥当です。	● 高 ○ 中 ○ 低
	効率性	<input type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input checked="" type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input type="checkbox"/> その他	市の直接事業でなく、学校や公民館で活動している地域ボランティアによる協議会へ委託していることから、事業コストは最少限度です。費用対効果は高いと判断します。	● 高 ○ 中 ○ 低
今後に向けた課題の分析		<p>「平塚市子ども読書活動推進計画(第二次)」に基づき、子ども読書活動のより一層の推進を図るため、各中学校区子ども読書活動推進協議会の活動を支援するとともに各協議会の連携を図るための活動の支援を進めていきたいと考えます。</p>		

3. 年度別事業内容・決算額

(単位:千円)

		平成21年度 決算額	平成22年度 決算額	平成23年度 決算額	平成24年度 予算額
事業内容		ネットワーク充実など、 計画改定・製本	ネットワーク充実等、計 画の推進	ネットワーク充実等、計 画の推進	ネットワーク充実等、計 画の推進
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	起債	0	0	0	0
	その他 特財	0	0	0	0
	一般財源	1,359	1,391	1,312	1,380
事業費 (A)		1,359	1,391	1,312	1,380
執行率 (%)		93.08	92.73	96.47	
内訳	職員 (人)	0.73	1.15	1.40	1.35
	再任用 (人)	0.00	0.00	0.00	0.25
人件費 (B)		6,100	9,498	11,346	11,671
フルコスト (A+B)		7,459	10,889	12,658	13,051

4. 今後の事業展開(担当課としての提案)

平成25年度の取組方針	<p>「平塚市子ども読書活動推進計画(第二次)」に基づき、第二次計画の様々な事業を充実して推進していきます。コスト面においては活動自体にかかるソフト面の経費のみとしつつ、関係課とも連携しながら効率的・効果的な事業展開を図っていきます。また、各中学校区子ども読書活動推進協議会のネットワーク組織の充実を図ります。</p>
課長コメント	<p>「平塚市子ども読書活動推進計画(第二次)」に基づき、全市的なネットワーク体制を構築し、各協議会への支援活動の一層の充実を図る必要があると考えています。また、主管課を社会教育課から中央図書館に移管し、子どもの読書活動をより一層推進していきたいと考えています。</p>